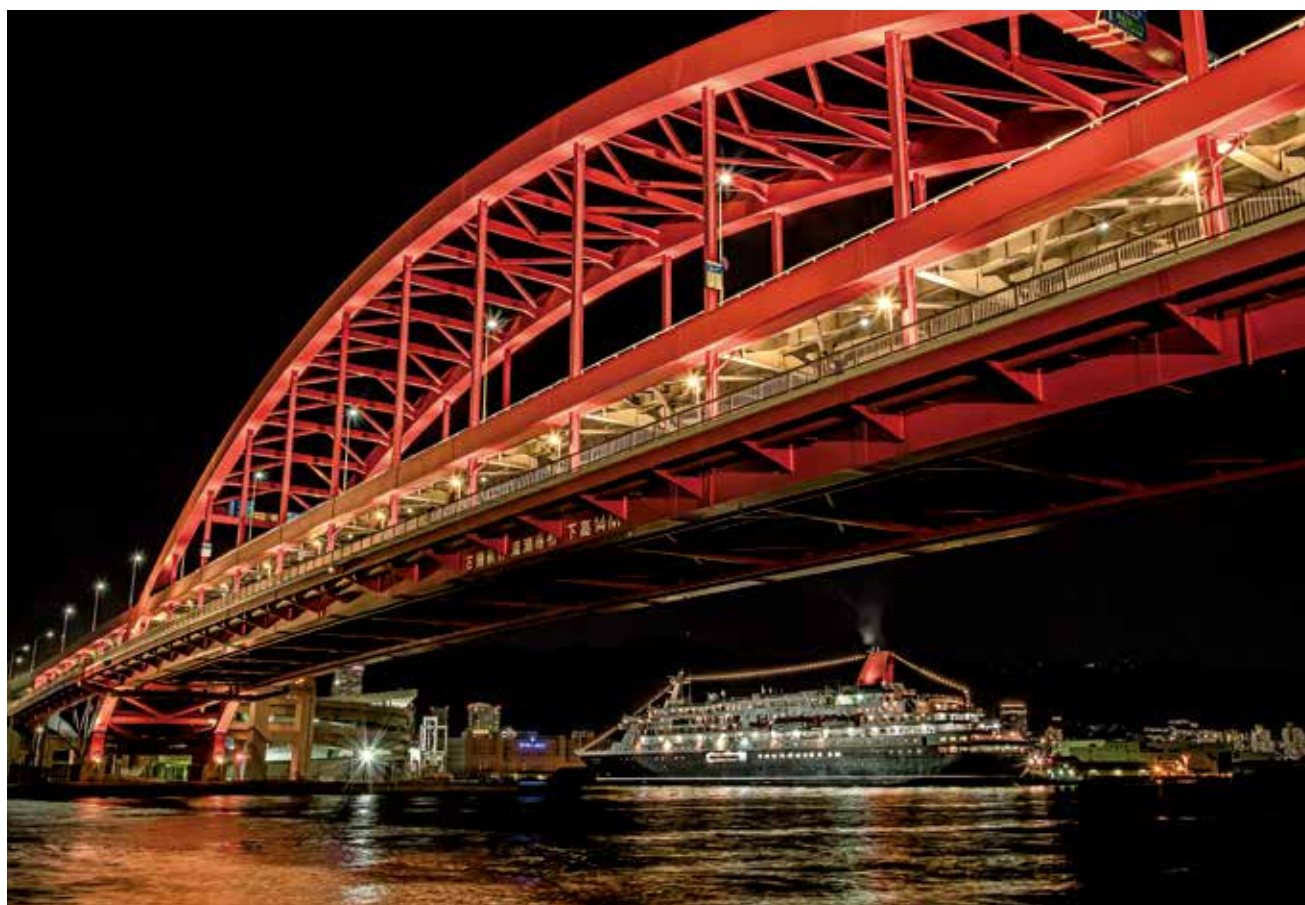


港の風

vol. 53  
2023年夏号

# 神戸港からのたより

PORT OF KOBE



# 港の風

神戸港からのたより

Vol. 53  
2023年夏号

## CONTENTS

- 01 はるかが行く 神戸みなとさんぽ 02  
「神戸港の端っこはどこ?! 編」
- 02 特集01  
神戸ポートミュージアムで  
アクアリウム×アートの新感覚を体験
- 06 特集02  
海上保安庁 大阪湾海上交通センター  
愛称：マリインタクトKOBE
- 10 人みなと  
神戸運輸監理部長  
臼井 謙彰氏  
一般財団法人神戸観光局 専務理事（港湾振興担当）  
大岩根 禎一氏
- 12 船インフォメーション
- 16 神戸海洋博物館・カワサキワールドだより
- 18 神戸港TOPICS
- 20 港で働く人  
神戸サンソー港運株式会社 現業部作業課 班長  
松浦 達也さん  
神戸市港湾局海務課所属 けい船係  
春名 優香理さん
- 21 神戸空港NEWS
- 22 神戸港貿易統計データ  
神戸税関こぼれ話  
～神戸から世界へ～ 真珠の輸出 ～真珠の街・神戸～世界が認める美しさ
- 24 今後の港関連イベント
- 25 編集後記



海上から臨む神戸の夜景 撮影：神戸観光局観光部 松村耕一



## 「港の風～神戸港からのたより」

編集・発行 一般財団法人 神戸観光局 港湾振興部  
〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号  
電話：078 (327) 8981 FAX：078 (332) 4739  
<http://kobe-meriken.or.jp>

表紙：夜の神戸大橋と神戸港に入港するにつぼん丸 撮影 神戸観光局観光部 松村耕一



はるかが行く



## 神戸港の端っことはどこ?! 編

### 神戸みなとさんぽ

02

このコーナーでは、神戸観光局港湾振興部の新人であり、「神戸港初心者」の私が、日々仕事をする中で気になった物事取材してお届けしていきます。配属後間もなく渡された「神戸港便覧」。広げると、神戸港の大きな地図。興味深く眺めていると、明石海峡大橋が載っていないことに気がきました。神戸港の端っことは、神戸市の端っこではないのか？今号では、この疑問の解決を目指します！

### 最大の謎【神戸港の西端】

神戸港の西端は、須磨区を流れる堺川河口。  
ともかくにも現地調査！



なんと！堺川はちょうど垂水区と須磨区の区境であったことが判明！

海に目を向けてみましたが、変わったものは何もない。纔やかな須磨の海です。



辺りを歩いていると、思わせぶりな石碑を発見！「摂津播磨国境堺川…!？」



現地調査の結果、この地が昔から何らかの境目として機能してきていることが分かりました。歴史をたどれば神戸港の西端がここである理由をつかめそうです！

### 追加調査の結果

1948年に神戸港の西端が「妙法寺川河口」となり、1957年に「堺川河口」となったことが分かりました。この9年間で何が起きたのか。私ではお手上げ状態になってしまったため、神戸市港湾局港湾計画課さんに教えていただきました。



### 神戸市港湾局港湾計画課 高橋さんに聞きました！

た 妙法寺川から堺川までの港域拡張には下記の理由が挙げられます。

- ① 当時、複数の港湾施設が港湾区域外にはみ出す状態にあったこと。
- ② 神戸港の西からくる漂砂による港の理塞という問題があり、一元的な管理を行う必要があったこと。
- ③ 当時、計画中であった須磨ヨットハーバーを港域内に入れたかった。(お金の事情で…)

は 港湾施設がある場所、作る場所に合わせて港の端っこを設定したということですね！

は はるか た 高橋さん

### ちなみに、、、【神戸港の東端】

神戸港の東端については非常に簡単で、神戸市と芦屋市の市境がそのまま神戸港の東端となっていました。



西端



意外と気に留めることのない神戸港の端っこ。歴史をさかのぼって調査する中で、神戸港のこれまでの進化に触れられる、非常に勉強になるトピックでした！



# 特集 01

## 神戸ポートミュージアムで アクアリウム×アートの新感覚を体験



2021年秋に開業し、新たな神戸ウォーターフロントエリアのランドマークとなった、神戸ポートミュージアム。アクアリウム、フードホール、ブライダルデスクで構成された文化複合施設です。インスタグラムをはじめとするSNSで拡散され、神戸唯一の「映えスポット」として話題になったátoa(アトア)。オープンから1年半が経った現在でも、たくさんの写真が投稿され続けています。今号では、そんなátoaを特集！皆さまの夏休みのおでかけの参考になればうれしいです。



薄暗い洞窟の中に入っていくかのような演出が施されたátoaのエントランス。足を一步踏み込めば、幻想的な空間が広がります。

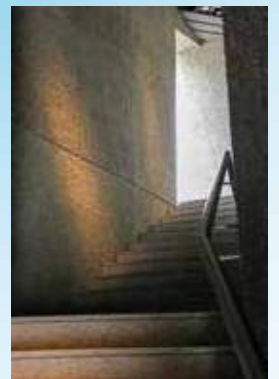
átoaという名前の由来は「アクアリウム(水族館)」と「アート」の融合。舞台美術やデジタルアートがふんだんに使用された館内は見どころも盛りだくさんです。光や香りなど「五感で感じる」演出が随所に盛り込まれ、幻想的な世界に入り込んだような感覚を味わうことができます。

館内は8つのテーマに分かれており、それぞれのテーマを表現した様々なデザインの水槽を展示。水槽には、魚類を中心に無脊椎動物、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類など多様な生きものたちが暮らしています。通常の水族館では、ひとつのエリアに同じ地域の生きものを展示することが一般的ですが、átoaではひとつのゾーンに様々な地域の生きものが暮らしており、独創的な雰囲気が漂います。

また館内には、額装された水槽や、手で触れて動かすことのできるオブジェ、その他数多くのアートが点在しています。アートを探しながら巡る新感覚の水族館。みなさんも是非体験してみてください。



**神戸ポートミュージアム外観**  
「隆起する大地と浸食する水により生まれた造形」を表現したデザイン。近代的な外観が目を引きまます。



átoaへと続く外階段。洞窟の中へ入っていくようです。



出迎えてくれたのはATOA Chatterのアドレス。インフォメーションの案内係です。



インフォメーションでは魚朱印を販売。átoaにいる生きもののイラスト付きです。



はじまりの洞窟

## CAVE

ここがátoaの出発地点。  
光る魚群とともに、館内へ入っていきます。



ここにも！アート発見

凶暴な魚として知られるピラニア（実は臆病な性格）。よく見ると体に金色の鱗がついています。これも立派なアート！

生命のゆらぎ

## MARINE NOTE

部屋に入った瞬間に感じたいい香り。海をイメージした香りなのだから。ゆらゆら揺れる青色の光と透明の大きな水槽でまるで海の中にいるようです。



透き通った水槽なので、魚たちが泳ぐ様子をじっくり観察できます。



精霊の森

## ELEMENTS

海から森へ一気に移動。  
おとぎ話の世界をイメージしたゾーンです。



水槽の上にあるのは生きた植物。今も成長を続けています。



健康管理と学術調査のデータ収集に協力中のアルダブラゾウガメ。



探求の室

## FOYER

知的な好奇心がくすぐられるゾーン。  
たくさんの仕掛けが隠されています。



太陽の光を取り入れた最大水深7mのオーバーハング水槽。



壁画「蛸富士」。手前の水槽と見ると、銭湯のようです。近くで見ると細かい模様は迷路になっています。



生きもののクイズや謎解きなど楽しめるショーを不定期で開催！ ATOA Chatter のアンモン長老に会えたらぜひ話しかけてみて！



## 和と灯の間 MIYABI

鮮やかで優雅な金魚や錦鯉に日本の  
美学を感じられるゾーン。



壁には、四季折々のイメージが投影されます。



昔々は、ひらひらと泳ぐ金魚を上から眺めて楽しんだそう。  
こちらのゾーンでは、上から眺められる展示になっています。

## 探求の回廊 GALLERY

五感で感じる体験。  
生きものたちへの好奇心が高まります。



様々な動物のおしりの匂いがかけるコーナー。



オブジェを動かすと、  
ペンギンの影絵が出現！



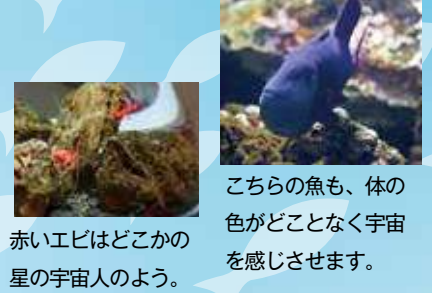
メリケンパークを臨む。

## 奇跡の惑星 PLANETS

丸みを帯びた水槽や、どこことなく宇宙を思わせる生きものたち。  
ここでしか体験できない神秘的な異空間です。



日本最大。直径3mもある球体の水槽。  
光と音を駆使したショーも行われます。



赤いエビはどこかの  
星の宇宙人のよう。



こちらの魚も、体の  
色がどこことなく宇宙  
を感じさせます。



水槽が額縁に入ったアート作品に。

## 空辺の庭 SKYSHORE

神戸の空が見える庭で、生きものたちが暮らしています。



átoaの飼育員さんは、  
ペンギンを顔で判別し  
ているとのこと。難し  
そうです。



コツメカワウソが昼寝をしているハンモックは、  
神戸市消防局から提供された使えなくなったホース  
でできています。なんとátoaの職員さんの手作り！





# お土産とグルメに立ち寄り

同じ建物の1階には、átoaのミュージアムショップと、フードホール「TOOTH TOOTH MART FOOD HALL&NIGT FES」があり、átoaに入館しなくても立ち寄ることができます。



バーカウンターを見上げるとここにも水槽。  
MARINE NOTE と繋がっています。



テラス席で  
海風を感じながら  
いただくのも楽しい



## GALLERYに展示中の 壁画アート「BLUE CARBON」は 特設サイトにも注目！

地球温暖化対策の新しい選択肢として注目され、生物多様性保全につながると期待されているブルーカーボンをご存知ですか？ átoaでは、ブルーカーボンについて理解を深めていただくための壁画アートをさらに詳しく、わかりやすく解説した特設サイトを今年5月にリニューアルしました。



### 夏休み期間中イベント

#### スノードーム ワークショップ

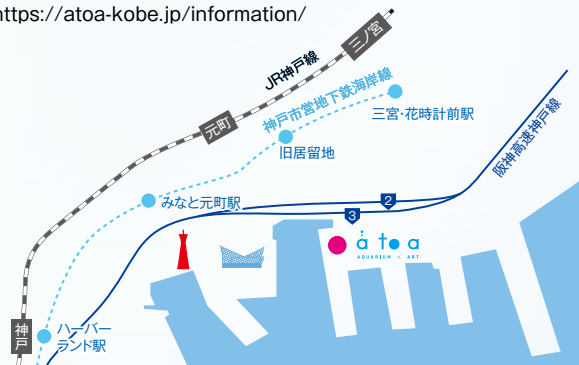


#### すきなパーツを選んで オリジナル作品づくりを体験

開催場所：2階 MARINE NOTE 生命のゆらぎ  
時 間：10:30～16:00(最終受付15:30)  
※作品は制作後すぐにお持ち帰りいただけます。所用時間は20～30分程度です。  
価 格：2,800円(税込)～※パーツによって値段が変わります。  
開催期間：2023年7月15日(土)～8月末までの土日とお盆に開催

## AQUARIUM×ART átoa(アトア)

〒650-0041 兵庫県神戸市中央区新港町7番2号  
電話：078-771-9393  
営業時間：10:00～20:00 / 年中無休  
料金：通常時 大人(中学生以上) 2,400円 子ども(小学生) 1,400円  
幼児(3歳以上) 800円 幼児(3歳未満) 無料<価格変動制ですので、事前にご確認ください>  
詳細はHPをご覧ください。  
<https://atoa-kobe.jp/information/>



## 大阪湾海上交通センター

愛称: マリントクトKOBE



## 令和5年3月12日 淡路島から神戸へ 移転・機能強化

神戸市のポートアイランド南西角で一際存在感を放つ高さ43.9メートル（3階建+レーダー塔）の海上保安庁の大型施設、その名も「大阪湾海上交通センター」。

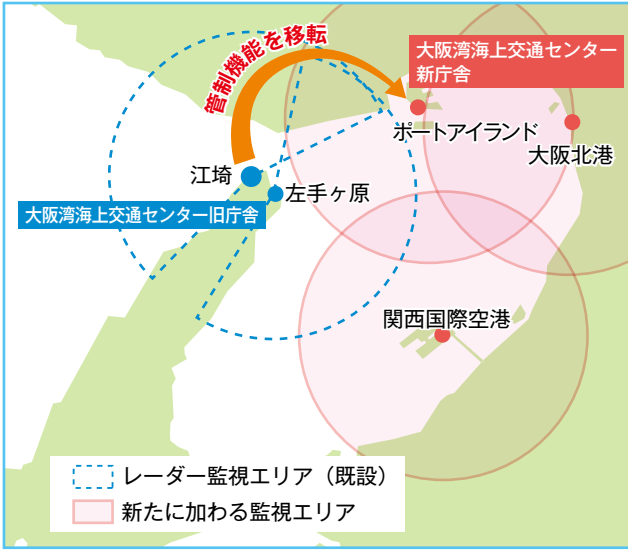
同センターはこれまで、明石海峡をのぞむ淡路島の北端に所在し、明石海峡をはじめとする広大な海域において船舶交通に関する情報を収集・把握し、船舶の安全運航に必要な情報提供等を行ってきましたが、関西国際空港連絡橋への船舶の衝突事故を踏まえ、管区本部（神戸市所在）との連携海域の監視・情報提供体制の強化を図るため、令和5年3月12日にここ神戸の地に移転してきました。

本号では、大阪湾海上交通センターを余すことなくご紹介します。





## 移転の経緯・背景



五管区海上保安本部では、平成30年9月台風21号の影響により、関西国際空港周辺海域に錨泊していた船舶が走錨\*し、同空港連絡橋に衝突するなど、近年、大型の台風をはじめとした異常気象の頻発・激甚化に伴い、船舶交通の安全や臨海部における施設の機能が阻害され、人流・物流に甚大な影響を及ぼすような事故が発生していることを受け、同空港周辺海域を含む大阪湾北部海域において、荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止のほか、海域の監視・情報提供体制を強化するなど、安全対策の強化に取り組んできました。

大阪湾海上交通センターの移転・機能強化もこの一環であり、レーダーや高機能カメラを新たに整備するなど、大阪湾北部海域の海上交通の安全を支える体制を整えました。

(※船舶が錨をおろしたまま強い風や波等の影響で流されてしまうこと)

### 新庁舎 の 紹 介

新しい庁舎は3階建てで延べ床面積は約1,800平方メートル、運用管制室は最上階にあり、約360平方メートルのワンフロアで、壁面には縦1.4メートル×横3.6メートルの多画面装置、更にその左右にはそれぞれ10面のモニターを整備しました。

これにより全ての管制卓のモニターをこの壁面モニターに映し出すことができ、緊急時の状況を即時共有することができるようになりました。



## 愛称は「マリンタクトKOBÉ」

センターの移転に先立ち、広く国民の皆様には海上保安庁の業務を知って頂くとともに、地元によく愛される施設を目指すという趣旨で、新庁舎の愛称を募集したところ、数多くの御応募の中から地元に着目した愛称選考委員会により最終的に「マリンタクトKOBÉ」という愛称が決定しました。

この愛称には、海上交通センターが船を正しく導く様子をオーケストラで指揮者がタクトを振る姿になぞらえ、「航路のハーモニー」を奏で続けることを願う作者の想いが込められているそうです。

「マリンタクトKOBÉ」という愛称に込められた想いに恥じぬよう、これからも所長を筆頭に職員が一丸となって正しくタクトを振り、海上交通の安全確保に取り組んでいくとの意気込みを語ってくれました。



愛称選考委員会

建築に携わった方や海事関係者、地元の中学校・高校の生徒会長さんにも参加頂き、みなとまち神戸にふさわしい愛称が誕生しました。

# 海上交通センターの役割



海上交通センターは、特に船舶の交通量が多い7つの海域（東京湾、伊勢湾、名古屋港、大阪湾、備讃瀬戸、来島海峡、関門海峡）に設置されています。

船舶の安全航行に必要な情報の提供と管制業務を一元的に行うことで、海上交通の安全を図っています。

大阪湾海上交通センターでは、日本トップクラスの交通量を誇る明石海峡航路をはじめ、海上輸送の要衝である大阪湾等の安全を確保しています。

## POINT

日本の貿易量の99.5%が海上輸送されています。海上交通の安全を守り、日本の生命線ともいえる海上輸送の安全を確保するのが、海上交通センターの役割です。

# 海上交通センターの主な業務



## POINT

平成22年7月1日に施行された「港則法及び海上交通安全法の一部を改正する法律」では、航路等のふくそう海域における船舶交通の安全性の一層の向上を図るため、海上交通センターによる船舶に対する情報提供や勧告等の措置が制度化され、これにより、海上交通センターが果たすべき役割は益々重要なものとなりました。



# 運用管制官の仕事



運用管制官は、海上交通センターで勤務し、船舶が安全に航行できるよう、レーダー等により船舶の動静を把握し、無線による情報提供や法令に基づいた航行管制を行います。

必要により、湾内に配備している巡視船艇に無線で連絡し、現場に急行させるなど陸と船で連携して業務にあたっています。

船舶海難を未然に防止するため、航行中の船舶が必要とする情報を即座に判断し提供する必要があり、緊張を強いられる場面も多々ありますが、とてもやりがいがある仕事です。

航行管制等に関する知識・技能だけでなく、外国船舶との通信に必要な英語力を維持・向上させなければならないため、日々の自己研鑽が欠かせません。

運用管制官の仕事は、十分な専門知識と経験に基づく複雑かつ高度な判断が求められるため、国際標準に基づく資格を取得した職員が行います。

資格を取得した一人前の運用管制官には「き章」(下写真)が与えられます。

## 運用管制官からひとこと

運用管制官として適時適切な情報提供等を実施し、大阪湾における海難事故ゼロを目指して日々精進してまいります。

藤森良太



海上保安学校(管制課程)を卒業し、管制官となり今年で2年目、まだまだ学ぶことばかりですが、船舶交通の安全確保を担う管制官の業務に日々やりがいを感じながら、精一杯励んでいます。

大秦直樹



「とびの両翼」を配し、運用管制官の飛翔力を表しています。翼は日本神話において安全に目的地まで案内した鳥です。

円の中には航路標識の国際的なシンボルである「たいまつを掲げた人魚」を配し、周りで泳ぐ魚は運用管制官の支援によって安全な航海をする船舶を表しています。

中央の円は「レーダースコープ」を配し、航路を監視し、船舶へ情報提供を行う職員であることを表しています。

ごあいさつ

## 海上交通の安全を守るためタクトを振る

当センターは本年3月、淡路島北端から神戸空港を目の前に見るポートアイランド南西角に移転してきました。淡路島では1993年から30年間、明石海峡を航行する船舶を見守り続けてきました。これからはここ神戸の地において、明石海峡に加え神戸空港沖、関西空港沖を含む大阪湾北部海域全般を航行する船舶を見守り、そして導いていきます。

移転を機に「マリントクトKOBÉ」という素敵な愛称をつけていただきました。『たくさんさんの船を導く様

は、「海の指揮者」のよう。名曲は正しくタクトが振るわれてこそ生まれる。漁船、客船、貨物船。すべての安心と安全を預かる「偉大なマエストロ」として、「航路のハーモニー」を奏で続けることを願う。』との思いが込められたものです。

この思いを「海上交通の安全を守る」という熱い使命感を持つ「海の管制官」と呼ばれている運用管制官、情報官、技術官、管理系職員全員で実現させていきます。



大阪湾海上交通センター  
(マリントクトKOBÉ)

所長 三ヶ田忠弘



read more...!

「海の管制官」ポータルサイト



## 兵庫県内、 港の魅力アップに貢献を

神戸運輸監理部長

**白井 謙彰氏**

### PROFILE

神奈川県横浜市生まれ。東京大学大学院工学系研究科を修了後、1991年運輸省(現・国土交通省)入省。2001年国際海事機関(IMO)派遣、11年内閣官房東日本大震災復興対策室企画官、16年海事局総務課国際企画調整室長、21年神戸運輸監理部海上安全環境部長、22年総合政策局海洋政策課長を経て、23年4月より現職。学生のころから語学が好きで、今も英語ニュースを聞いたり、雑誌「The Economist」を愛読。散歩も趣味の一つで、2度目の神戸の街を楽しんでいる。

### 海事関係業務に長く従事

私は主に海事局を中心に携わってきましたが、運輸省を選んだ理由は二つあります。各省庁の局の中で、海事局はおそらく唯一、産業、環境保全、労務の3分野を扱いますが、そこに魅力を感じたのが一つ。二つ目は、船関係なので国際業務に携わる機会が多いのではないかと考えたことです。

特に印象に残っているのは、ロンドンに本部を置く国際海事機関(IMO)での仕事です。船舶の安全や海洋環境保全に関する条約策定や改正を行うもので、9.11後のテロ対策の新たな条約づくりや、途上国への技術協力プロジェクトなどに事務方として携わりました。日本を含む加盟国170カ国余りが議論を重ね、調整する、その舞台裏を見聞し、関わるのができたのは非常に良い経験でした。

また、東日本大震災復興対策室での業務も印象深いものでした。制度をゼロからつくり、でき得る限り地元に出向いて、みなさんに寄り沿って対応しました。

### 大阪・関西万博への海上航路開設を支援

神戸にはご縁があり、2年前にも当部海上安全環境部長として赴任し、水上バイクの安全対策などを担当しました。

当部は全国に10局ある地方運輸局の一つとして、兵庫県内の海事行政を中心に、自動車、観光などの運輸行政を担っています。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行、2025年大阪・関西万博の開催など、追い風にうまく乗り、関連機関の方々と連携を強め、県内の運輸業界がより良くなるよう努めています。例えば、万博

に向け、県と会場を結ぶ海上航路の開設など、支援していきたいと考えています。

また、県内には船舶エンジンやプロペラなどの機器を製造する船用メーカーが多く、みなさんの意見を直接うかがうことができるので、積極的に意見交換しながら、県内ならではの課題を本省に届けるのも私の役割です。

物流業界の2024年問題についても、モーダルシフトの受け皿となる海運の課題の一つである船舶、船員両方の高齢化や船員不足などの課題解決に向け、知恵を絞っていきたいと思えます。

### 豊かな観光資源とともに 神戸港をより活性化へ

私は横浜出身で、元々海に親しみを持っていますが、神戸には六甲山もあります。山から海まで徒歩圏内で、三宮駅周辺に商業、行政などさまざまな機能が集約されており、利便性が非常に高い。面的に美しく整備され、歩きやすい。三宮駅周辺もよく練られた都市設計という印象です。人々もフレンドリーで住みやすい街だと思います。

その神戸の街は、歴史ある港なくしては語れません。神戸港の魅力を活かし、豊かな観光資源も活かした一層の活性化を期待しており、私たちもサポートしていきます。インバウンドについては、訪日外国人旅行者の数だけではなく、一人当たりの消費額を増加させるための政策を考える時が来ています。神戸市内、兵庫県内にいかに滞在していただけるかを考えながら、様々な取組を後押ししていきたいと思えます。



## 官民一体となって、 ウォーターフロントの さらなる活性化を

一般財団法人神戸観光局 専務理事（港湾振興担当）

### 大岩根 禎一氏

#### PROFILE

神戸市垂水区生まれ。立命館大学経営学部卒業後、1988年神戸市に入庁。みなと総局みなと振興部主幹（物流対策担当）、交通局自動車部市バス運輸サービス課長、交通局担当部長（計画推進担当）、同自動車部長、交通局担当局長を経て、2023年4月から現職。趣味はテニスで、以前は週に数回楽しんでいた。車いすテニスのボランティアも。海釣りにも気軽に出かけている。



### 港湾エリアの土地整備を中心に携わる

1988年4月に入庁し、市営住宅や再開発ビル建設などの仕事も担当しましたが、震災以降、港湾整備局（現・港湾局）で埋め立てた土地整備やそこへの企業誘致に長く携わってきました。

当時は港湾エリアで多くの土地が空いており、震災によって疲弊した企業が多い中、いかに進出していただくかが最重要課題でした。そこで、新たな企業体に進出していただけるよう、規制緩和を図りながら、ルールづくりを行いました。規制緩和については当初は厳しいものがありましたが、粘り強く対応してご理解いただき、中古自動車や中古建機、交通系などの新たな企業体の進出につながりました。土地整備に関する仕事は、その土地をよく見る、よく知ることが非常に重要で、決して机上では終わらせないと何度も現地に通って取り組みました。

### 観光ソフト面をより充実へ

神戸観光局では、神戸市と周辺地域の多様な観光資源を活用し、地域経済、神戸港の発展を目指して積極的な取り組みを進めています。私は中でも港湾振興部を専門に担当しますので、これまで培ってきた経験を十分に活かし、ウォーターフロントを中心に、市民、観光客のみなさんが集い、楽しんでいただけるように注力していきます。

2024年春に向けての神戸ポートタワーのリニューアル工事、2025年春開業予定の神戸アリーナの建設などハー

ド面の開発が着々と進んでいます。今後、ソフト面での充実をさらに図っていきたいと考えています。昨年度も好評をいただいた、音楽と花火をシンクロさせた分散型花火イベントや、冬のメリケンパークで行うイルミネーションイベント等特に夜を楽しめる企画を進め、神戸のナイトタイムをより盛り上げていきます。

また、豪華客船をはじめ、帆船などの入港が回復傾向にあります。乗船していただくのはもちろん、見るだけでも十分楽しめますので、気軽に港に足を運んでいただけるよう、情報発信などを的確に進めていきたいと思っています。

### 神戸の魅力を深掘りし、発信

私は神戸市垂水区出身で、子どものころからよく海釣りに出かけたものです。元町、三宮の繁華街、六甲山に有馬温泉など気軽に出かけることができ、神戸の街は何をするにもアクティブに活動しやすい、住みよい街だと実感しています。

神戸は元々、人々が知恵を絞って育ててきた街、港も人の力でゼロから発展してきました。都市と港が非常に近いのも特徴であり、大きな強みかと思えます。

2030年前後の神戸空港国際化も見据え、今後も市民のみなさん、関係各所のみなさんとともに官民一体となって、時代に合った変化に、柔軟にスピード感を持って対応しながら、神戸の魅力を発信していきます。

## 船

## インフォメーション

外航クルーズの再開以降、3月から5月にかけてクルーズ客船が春の入港ラッシュを迎え、合計で28隻もの客船が相次いで神戸港に入港しました。また5月からは、クルーズターミナルのガイドラインも緩和され、ターミナルが乗船客や客船を見に来られた方々で賑わい、みなとまち神戸らしさを感じさせられました。

## SHIP INFORMATION AND SCHEDULE

## 3～5月 神戸港に入港したクルーズ客船

## DIAMOND PRINCESS

外航クルーズが再開し3月8日に第1船目の入港となったDIAMOND PRINCESS。5月は神戸港を起点とするクルーズで5月13日、20日、27日と入港しました。

寄港中、港湾振興部お手製のフォトボックスを設置すると、ターミナルを訪れた方々が楽しく記念撮影をされていました。

13日は神戸学院大学吹奏楽部、20日は神戸シンフォニックバンド、27日は須磨翔風高校和太鼓部による歓送演奏で出港を見送りました。

## SEVEN SEAS EXPLORER

3月11日、神戸市消防艇による歓迎カラー放水を受けながら神戸港に初入港となりました。初入港を記念して船内では初入港歓迎セレモニーが行われ、神戸市港湾局長谷川局長らが出席し、歓迎の挨拶や船長へ初入港記念盾の贈呈等を行いました。夜の船内では「木村優一と大地の会」による船内演奏が行われ、会場内は乗船客の拍手喝采で包まれました。翌日の出港時には神戸アルディウインドアンサンブルによる出港歓送演奏とバルーンリリースで見送りました。

本船はこのあと3月に2回、4月に2回の入港となり、神戸市消防音楽隊のみなさまによる演奏で華を添えました。



## WESTERDAM

神戸市消防音楽隊による歓迎演奏のなか、3月15日に入港し、2019年以来約4年ぶりの神戸港入港となりました。

乗船客のみなさまを神戸港PRキャラクターのキャプテンタワー君がお出迎えし、記念撮影を楽しみました。

本船は4月12日にも再び入港し、たくさんの乗船客が神戸を観光に訪れました。





## NAUTICA

3月に2回、4月に1回の入港となったNAUTICA。3月25日の入港時には、甲南大学JAZZ研究会による歓迎演奏でお出迎えでした。今年神戸のジャズは100周年を迎えます。元気あふれるJAZZ演奏で本船からアンコールが響きました。



## AZAMARA QUEST

3月30日と4月14日の2回、神戸港へ入港しました。どちらの寄港も神戸港で1泊するスケジュールで、神戸の観光を堪能されていました。3月31日の出港時には流通科学大学和太鼓部、4月15日の出港時には須磨翔風高校和太鼓部による和太鼓演奏でお見送り、本船からは、『ありがとう日本』の横断幕が掲げられていました。



## EUROPA 2

3月30日、朝日をあびながら約4年ぶりの神戸港入港となりました。同日は、外国客船AZAMARA QUESTが神戸ポートターミナル東側に、SEVEN SEAS EXPLORERが中突堤旅客ターミナルに入港となり、神戸港では初めてとなる外国客船3隻が並んで入港となりました。元町商店街のミニイベントブースでは、おもてなしCREWによるオリジナル扇子づくりを実施し、乗船客が楽しめました。本船は31日まで停泊し、神戸を後にしました。



## SILVER WHISPER

グレーと白のスタイリッシュな船体のSILVER WHISPERが、4月1日に、2009年以来約14年ぶりの入港となりました。出港時には「是川博美カルテット」の軽快なJAZZ演奏と多くの市民の方々に見送られながら出港しました。本船は4月11日に再び入港となりました。



## SILVER MUSE

4月12日、神戸市消防艇による歓迎カラー放水を受けながら、ポートターミナルに着岸、神戸港へ初入港となりました。初入港を記念して、船内でセレモニーを行い、神戸市港湾局川中副局長らが出席、歓迎の挨拶や初入港記念盾の贈呈等を行いました。寄港中は、おもてなしCREWによる乗船客へのミニイベントとして相楽園の茶室を貸切り、日本庭園を眺めながら、新緑の景色を楽しまれました。



## STAR BREEZE

4月26日、神戸港に初入港したSTAR BREEZE。サイクリングとクルーズを一緒に楽しむツアーでお客様が乗下船されました。乗船時には2人乗りのタンデムバイクを組み立て、各寄港地を巡る準備を行っていました。5月15日に再び入港し、船内では初入港を記念したセレモニーを行いました。



## 飛鳥Ⅱ

5月26日、神戸への入港は昨年12月からの約半年ぶり、中突堤への入港は2019年12月からの約3年半ぶりの入港となった飛鳥Ⅱ。

出港時には、神戸市消防音楽隊による歓送演奏と市民のみなさまによるUW旗で見送りました。



## にっぽん丸

にっぽん丸は、5月27日、5月31日と入港しました。

31日は雨上がりの青空の中での停泊となり、船体の濃紺と白、ファンネルの赤色が神戸港のコントラストを鮮やかに彩りました。



## 神戸港ならではの夏を満喫 客船フェスタ 2023

憧れのクルーズ客船や港の魅力がたっぷり詰まったイベント「客船フェスタ 2023」を、今年は2日間開催します。

神戸港から乗船できるクルーズの紹介ブースや、神戸港オリジナルスタンプでトートバッグを作るキッズワークショップなど、幅広い世代が楽しめる企画が盛りだくさんです。外国客船2隻が入港予定の2日目は、クルーズ客船を間近で見られるチャンス！皆様のご来場をお待ちいたしております。

【日時】

7/23(日)・24(月) 11:00~16:00

【場所】ポートターミナル 【料金】無料

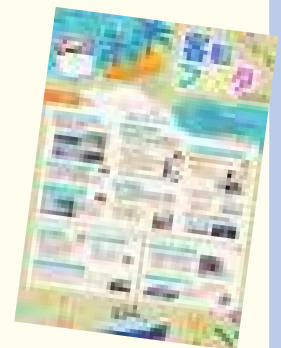
内容

23日・24日 クルーズの魅力PRブース、体験イベント・ワークショップ、写真展等を開催

23日のみ ステージイベントや、夏祭り緑日イベント等を開催

24日のみ クルーズ客船「DIAMOND PRINCESS」と「PACIFIC WORLD」が入港（船内には入れません）

客船フェスタ会場では、8月27日(日)に開催する、客船「飛鳥Ⅱ」の市民船内見学会に申し込むことができます。(詳細はホームページでご確認ください。)



客船フェスタ 2023



詳細はこちら



# クルーズ客船入港予定（7～8月）

7月、8月も客船の入港が予定されており「NATIONAL GEOGRAPHIC RESOLUTION」が初入港を予定しています。  
みなとまち神戸ならではの風景を楽しみに、ぜひ神戸港までお越しください!



DIAMOND PRINCESS



PACIFIC WORLD



SPECTRUM OF THE SEAS



初入港

NATIONAL GEOGRAPHIC RESOLUTION



飛鳥II



にっぽん丸



船名	総トン数	バース	入港	出港
にっぽん丸	22,472	NAKA-BC	7月2日(日) 11:30	7月2日(日) 21:00
飛鳥II	50,444	NAKA-BC	7月5日(水) 9:00	7月5日(水) 17:00
にっぽん丸	22,472	NAKA-BC	7月6日(木) 11:30	7月6日(木) 13:00
飛鳥II	50,444	S-4Q1/Q2	7月12日(水) 9:00	7月12日(水) 17:00
飛鳥II	50,444	S-4Q1/Q2	7月14日(金) 9:00	7月14日(金) 17:00
飛鳥II	50,444	S-4Q1/Q2	7月17日(月) 9:00	7月17日(月) 17:00
DIAMOND PRINCESS	115,906	S-4Q1/Q2	7月24日(月) 6:00	7月24日(月) 21:00
PACIFIC WORLD	77,441	S-401/O2	7月24日(月) 14:00	7月25日(火) 18:00
SPECTRUM OF THE SEAS	169,379	S-4Q1/Q2	8月10日(木) 7:00	8月10日(木) 18:00
PACIFIC WORLD	77,441	S-4Q1	8月22日(火) 8:00	8月23日(水) 13:00
NATIONAL GEOGRAPHIC RESOLUTION	12,786	S-4Q1/Q2	8月25日(金) 8:00	8月26日(土) 3:00
飛鳥II	50,444	NAKA-BC	8月25日(金) 9:00	8月25日(金) 17:00
飛鳥II	50,444	NAKA-BC	8月27日(日) 9:00	8月27日(日) 17:00
飛鳥II	50,444	NAKA-BC	8月30日(水) 9:00	8月31日(木) 17:00

神戸ポートターミナル：S-4Q1/Q2、S-401/O2

中突堤旅客ターミナル：NAKA-BC

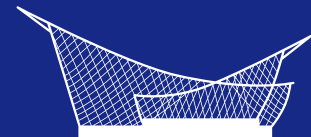
※スケジュール・バース等は予告なく変更・追加されることがありますのでご注意ください。

※神戸港へのクルーズ客船の入港予定は、「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。➡





# 神戸海洋博物館 & カワサキワールド だより



## 神戸海洋博物館

### 企画展「カワサキロボット」を開催いたしました

神戸海洋博物館では、2023年4月18日（火）から5月21日（日）まで企画展「カワサキロボット」を開催しました。

昨年度、当館にて好評を博したワークショップ「カワサキロボットエンジニアになろう」（カワサキロボットサービス株式会社主催）。今年度の開催頻度を増やすことが決定したことを受けて、川崎重工業株式会社の産業用ロボットをパネルと映像でご紹介。ロボットが社会に果たしてきた役割と人間とのかかわり方について考える機会となり、子どもから大人まで多くの来館者の方々にお楽しみいただきました。



### 企画展「ボトルシップ作品展 世界をつなぐ帆船」好評開催中



神戸海洋博物館ボトルシップ愛好会による作品展「ボトルシップ作品展 世界をつなぐ帆船」を7月17日（月・祝）まで開催しています。今年は「世界で活躍した・している帆船」をテーマに作品を展示しています。

本展では、ボトルシップ作品のみならず、製作過程もご紹介しています。これを機会にボトルシップの魅力に触れていただき、海や船にご興味を持っていただくきっかけ作りに是非ご覧ください。（※展示最終日のみ15時閉場）

また、7月9日（日）には例年ご好評をいただいているワークショップ「子どもボトルシップ教室」を開催予定。神戸海洋博物館ボトルシップ愛好会の皆様を講師に迎え、一緒にボトルシップを作っていただくお子さま向けの教室です。（※要事前予約、詳しくは神戸海洋博物館HPへ）



今年度のボトルシップ作品展の展示風景



## 夏休み期間中のイベントご案内

神戸海洋博物館では、7月15日(土) 16日(日) 17日(月・祝)と8月11日(金・祝) 12日(土) 13日(日)の6日間、ワークショップを行います。トートバッグ作りやふうりん作りなど、子どもたちに楽しんでもらえるイベントをたくさんご用意しております。

また、昨年好評をいただきましたナイトタイムエコノミー「KOBE Summer Night Museum」を本年も開催いたします。8月の毎週土曜日、開館時間を通常18時から20時まで延長。皆さまのご来館を心よりお待ちしております。(開催日:8月5日、12日、19日、26日の全4日程)



昨年度のワークショップの様子

## カワサキワールド

### 7月は「カワサキロボットエンジニアになろう!」を開催します

カワサキワールドでは「カワサキロボットエンジニアになろう!」を開催します。当イベントは「産業用ロボットとは何か?」「産業用ロボットはどのようなことをしているのか?」など、普段はあまり目にする事のない産業用ロボットについて学べます。内容については開催日ごとに異なり、7月はPCを使ったプログラミングを体験しながら産業用ロボットの仕組みについて知ることができるプログラムの予定です。当イベントは今後も開催される予定ですので、ぜひご参加ください。



### カワサキロボットエンジニアになろう!

7月開催日程

7月29日(土)~30日(日)

- ※小学3年生~中学3年生の方が対象です。
- ※参加費用が必要となります。
- ※参加には事前の予約が必要です。
- 右記QRコードからご予約ください。



写真は2022年のものです



神戸海洋博物館 **カワサキワールド**  
KOBÉ MARITIME MUSEUM **Kawasaki Good Times World**

- 開館時間 10:00~18:00 (最終入館17:30まで)
- 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合翌平日)、年末・年始
- 交通 【電車】市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分 / JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分 / 神戸高速(阪急・山陽)「花隈駅」から徒歩約15分  
【車】山陽新幹線「新神戸駅」から約15分 / 阪神高速道路京橋ランプから約5分 / ハーバーハイウェイ新港ランプから約5分(周辺に有料駐車場あり)

#### ●入館料金

個人料金		一般団体	学校団体
		15名以上	
大人	900円	720円	高校生 300円
小人 (小・中・高)	400円	320円	小・中学生 150円

# 神戸港 TOPICS

## 港で働く人が参加！2023年度神戸港オリエンテーション開催

with コロナで講演会はオンライン開催 / 神戸港見学はコロナ対策を講じて実施

港湾振興部の会員組織「神戸港振興倶楽部」会員企業・団体の新入社員などを対象に、神戸港の概要説明（講演会）や神戸港内を周遊する観光船をチャーターして海上から神戸港の施設を見学する「神戸港オリエンテーション」を開催しました。

神戸市港湾局の職員を講師に招いての神戸港の概要説明は、会員企業限定のYouTube Channelにおいて4月5日(水)オンライン配信によって実施。一方で観光船による海上からの神戸港施設見学については、4月6日(木)・7(金) 港湾振興部職員の案内のもと、多くの皆様に参加いただき実施しました。



## 第50回神戸まつり「第45回神戸港カッターレース」を4年ぶりに開催！！

神戸発祥の市民向けカッターレース、神戸港で5月14日(日)に開催し4000人が来場

1979年に第1回大会が開催され今年で45回目を数える神戸港カッターレース。日本各地の港で実施されている市民対象のカッターレースですが、実は神戸港が全国に先駆けて開催したイベントです。今年は5月14日(日)に場所を新港第一突堤西側海域に変更し、コロナ以降4年ぶりに開催しました。参加数は56チーム。今年初めてとなる一発勝負のタイムレース方式が採用され、時折小雨も混じる天気の中、神戸港を各チームが全力で漕ぐという熾烈なレースが繰り広げられました。会場内では兵庫県港運協会による青果物の格安販売も行われ、4,000人の来場で港が賑わいました。



新港第一突堤西側にて開催



参加チームを応援する人で賑わう会場



## 第50回神戸まつり「港の行事」を5月23日(火)に開催

神戸まつりの一環行事として「港の行事」を4年ぶりに開催

「港の行事」は三つの事業の総称で、神戸まつりのオープニング行事として位置づけられているもので、4年ぶりに神戸ポートオアシスにて開催しました。

### 神戸港湾勤労者表彰式

(神戸市港湾局 主催)



神戸港において、永年港湾業務に従事し、神戸港の発展に寄与した功績が顕著な港湾労働者、船舶乗組員等を表彰し、その労苦をねぎらうことを目的に実施。

### みなと繁栄安全祈願祭

(神戸市民祭協会・神戸観光局 主催)



神戸港の繁栄と船舶の安全航海および神戸空港の繁栄と安全な運営を祈願するとともに市民の幸福を願うために実施。

### 神戸港繁栄の鐘セレモニー

(神戸市民祭協会・神戸観光局 主催)



神戸港の繁栄と船舶の安全航海および神戸空港の繁栄と安全な運営を祈願して「神戸港 繁栄の鐘」を鳴らしました。

## 第50回神戸まつり「おまつりパレード」に参加しました！

2019年以来4年ぶりに、5月28日(日)に「うみ・みなとの仲間たち」の一員としてパレードに参加しました。本事業は神戸港で働く関係団体と一緒に海の日をPRするために参加している恒例行事で、大勢の観衆が集まる中、フラワーロードから三宮中央通りの約1kmにわたって行進をしました。



# ガントリークレーン運転士



松浦 達也さん

神戸サンソー港運株式会社  
現業部作業課 班長。

2009年に入社し、2016年7月にガントリークレーンを扱う作業課へ異動。現在はクレーン運転士の他にも、ブルドーザーやフォークリフトなど複数の荷役機器を使用した作業を行いつつ、班長として班員の指導監督、若手育成などに務めている。

## 海のキリンが神戸と世界の懸け橋に

神戸の港を見た時にキリンが長い首を伸ばすようなひと際大きな機械が目につくと思いますが、それが「海のキリン」と呼ばれるガントリークレーンです。ガントリークレーンは世界中の貿易港のほとんどに設置されている、海上貨物の荷役（貨物船から主にコンテナの積降しを行う作業）を行う上で不可欠な大型機械の一つです。

私は2009年に入社し、当初は倉庫内でフォークリフトを操作してカートンなど貨物の保管・出荷業務を行っていました。2016年に今の作業課に配属され、約2年間の練習期間を経てガントリークレーン運転士になりました。クレーン作業では、大型コンテナ船や小型内航船の荷役で地上約40mの高さから操作して、数10トンのコンテナを吊り上げて岸壁のトラックに積み降ろしたり、逆にコンテナ船に積み込んだりしています。荷役中、吊り上げるコンテナ周辺では沢山の人が作業しており、1つの操作ミスが重大事故に繋がることから、操作時は慎重かつ丁寧な荷役を常に心掛けています。ガントリークレーン運転士としての責任、班長としての責任は、一緒に作業している全員を笑顔で家に帰すことです。安全な作業を通して、神戸港が物流の拠点として世界へ繋がる為の一助となるよう頑張ります。



地上 40m、足元までガラス張りの操縦席から運転操作を行う

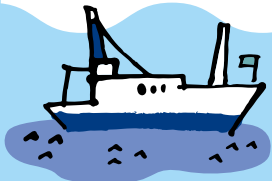
## わたしの ご近所グルメ



### 「ピアハウス六甲1」

神戸市灘区向洋町西2-10

好きなうどんと1品選べるおかずが20種類ほどもあり、ご飯も食べ放題。私はいつもうどんセットで満腹です。神戸港で働く人たちに活力を注入する食堂です。



# 港で働く人 04

神戸港で働くさまざまな人たちの仕事と、おすすめグルメを紹介

## 船舶けい離立会人



春名 優香理さん

神戸市港湾局海務課所属。けい船係。

2020年入庁。公共・私設問わず神戸港を出入港する船の動静を管理する部署を経て、2022年より現職。

## 船舶の安全でスムーズな 入出港のために

海務課では、事前に船型や周辺の他船の着岸状況等を考慮して公共岸壁に着く船の係留位置を決めます。着岸時は現場にて予定位置で支障がないかどうか直接船と交信し、支障があればその場で調整します。また、普段から施設の巡回や旅客乗降用渡橋の点検をすることで、次の入港船に備えています。

現場ではイレギュラーな事態に対する素早い判断が必要なため大変ですが、安全かつスムーズな荷役や旅客の乗降に繋がっていると実感でき、やりがいがあります。

今後、再開発や阪神高速の延伸で神戸港は大きく姿を変え、船も大型化が進み今とは違う運用が求められると思いますが、その時々に応じて関係者により安心・安全にご利用いただける港作りに努めます。



船が着岸する際に船長と位置合わせをするためにVHF交信を行う

## わたしの ご近所グルメ



### 「ヒル葉膳粥・ヨル貝割烹 カイノクチ」

神戸市中央区北長狭通2丁目1-14 玉広ビル3階

昼は葉膳粥がついた「食と健康」がテーマのお膳、夜は各地から取り寄せた貝を使用し、料理に合う地酒やワインもあります。お膳の汁物や小鉢は具沢山、お粥はお替り自由で、体を気遣いながらも満腹になれて老若男女問わずお勧めです。



「週替わり葉膳粥セット」  
この週は焼いた鯛のほくし身、筍、大葉のつた葉膳粥でした。

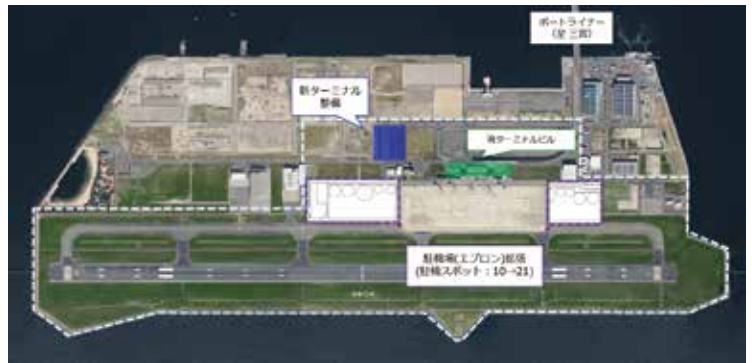




## 神戸空港が変わります！

神戸空港は、2025年に国内線の発着回数が現在の1日80回から120回に拡大するとともに、国際チャーター便の運用を開始します。また、2030年前後からは、国際定期便の1日最大40発着回の運用開始を予定しています。

2025年に向けて、神戸空港は、新ターミナルの建設、駐機場(エプロン)の拡張(西側)などの整備を進めています。新ターミナルビルは、「海に浮かび、森を感じる」をコンセプトに様々な場所で緑・自然が感じられる空間を創り出します。将来の神戸のまちの成長・発展につながる取り組みを進めていきますので、これからの神戸空港をどうぞお楽しみに。



空港島の整備



新ターミナルビル (イメージ)



展望デッキ (イメージ)

## 今年も神戸に「弘前のねぶた」が登場しました！

(株)フジドリームエアラインズの神戸⇄青森線の就航により、青森県はぐっと近くなりました。昨年に引き続き、今年も6月3日(土)・4日(日)、神戸ハーバーランドumieモザイク前高浜岸壁で「弘前ねぶたin神戸2023」が開催され、高さ約8mの迫力のある大型ねぶたやねぶた囃子の演奏が、みなと神戸を彩りました。

青森といえば、8月に県内各地で開催されるねぶたまつり。特に「青森ねぶた祭り」、「弘前ねぶた祭り」、「五所川原立佞武多祭り」は青森三大ねぶたと呼ばれています。他にも、名産品の「りんご」を使ったスイーツのお店が多数あるなど、青森県にはたくさんの魅力があふれています。

神戸からのフライト時間は約100分。ぜひこの機会に訪れてはいかがでしょうか。



「弘前ねぶたin神戸2023」

便名	神戸 ⇒ 青森	便名	青森 ⇒ 神戸
FDA833	11 : 55 ⇒ 13 : 35	FDA834	13 : 15 ⇒ 15 : 00



# 神戸税関 二ぼれ話

～神戸から世界へ～

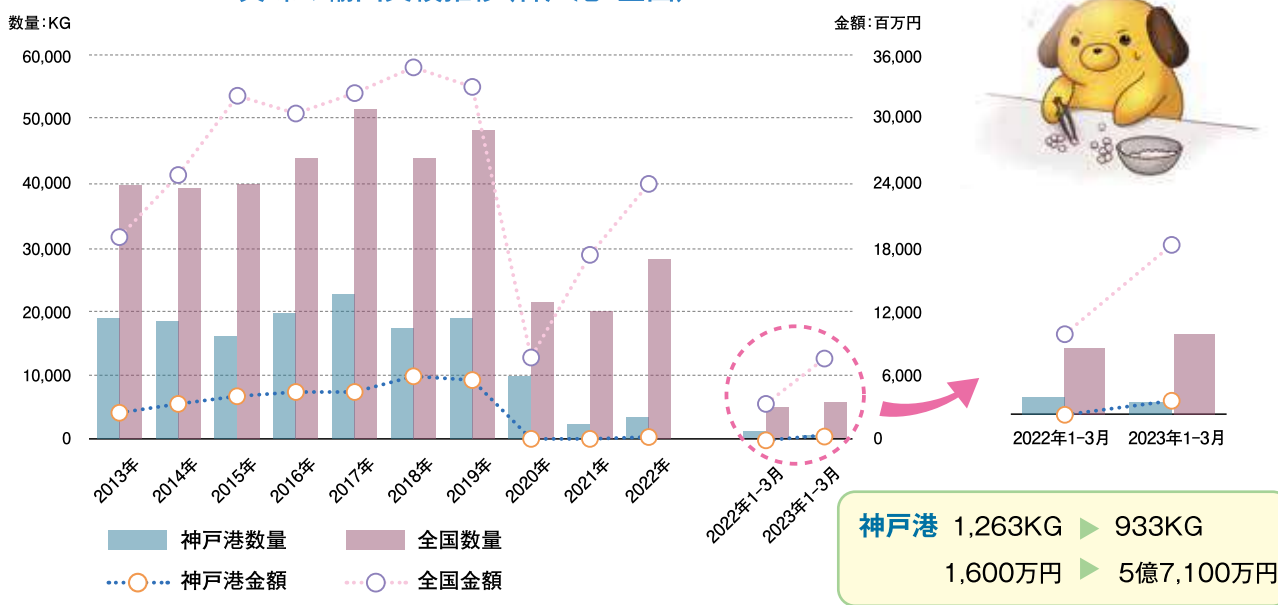
## 真珠の輸出

～真珠の街・神戸～世界が認める美しさ

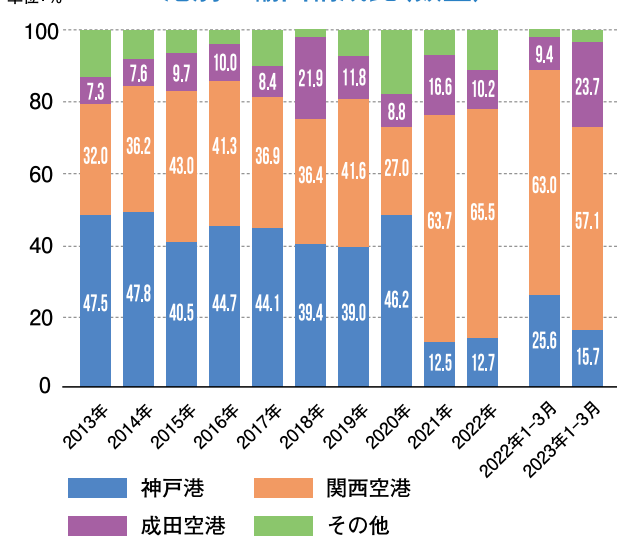


世界で流通する真珠の選別・加工の多くは神戸で行われていると言われています。約220社の真珠関連業者が集まる北野町には、通称「パールストリート」と呼ばれる通りがあり、ここに集められた真珠は選別・加工工程を経て、世界へと輸出されます。今回は、「真珠の街」と呼ばれる神戸にゆかりの深い真珠の輸出を取り上げました。

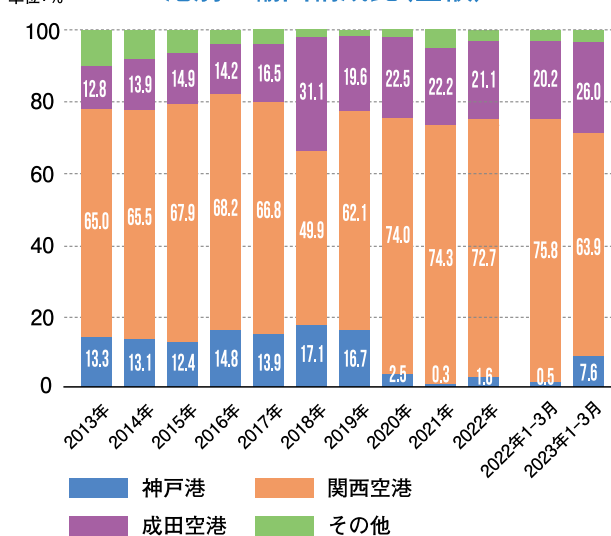
真珠の輸出実績推移(神戸港・全国)



港別 輸出構成比(数量)



港別 輸出構成比(金額)



(注) 本稿の「真珠」は、輸出統計品目番号7101に分類されるものを集計したものです。本資料を転載する時は「神戸税関」の資料による旨を注記してください。



過去10年の推移をみると、数量、金額とも約8割が神戸港と関西空港から輸出されています。真珠は旅客の携帯品手荷物として海外へ持ち出されることが多く、神戸港で輸出申告し、許可となった真珠の多くが関西空港から外国へ向けて運ばれます。2019年の神戸港は、数量18,837KG(対前年比109.2%)、金額55億4,400万円(同92.8%)、全国は数量48,346KG(同110.3%)、金額332億3,000万円(同95.3%)と全国では5年連続で300億円を超えて真珠が輸出されていましたが、その後は新型コロナウイルス感染拡大により、海外での国際宝珠展の中止が相次ぎ大きく減少しました。

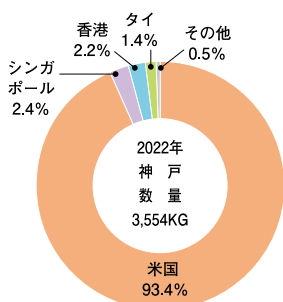
## マメ知識 その1

### 神戸市と真珠

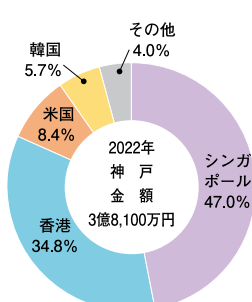
神戸市と真珠の結びつきは、明治の中頃、真珠の輸出が始まった時からですが、本格的な関わりは、1928(昭和3)年に真円真珠の特許が公開され、各地で養殖場が増加してからです。当時の真珠生産の大部分は米国をはじめ、ヨーロッパ各地に輸出されており、国内需要はごく限られていました。真珠輸出の増加に伴い、真珠の養殖場が三重県、四国及び九州に集中立地していたこともあって、地理的に近く、古くから国際貿易港であった神戸港が真珠の集散地となりました。また、真珠の選別や加工(穴あけや連組み)をする際には『午前中の北側光線』の下で選別するのが最も良いとされています。その点において神戸港周辺は北側に緑豊かな六甲山脈がそびえ、そこに反射した柔らかな光が真珠の選別や加工に適した土地であったことから、北野町近辺を中心に真珠加工業が発展しました。



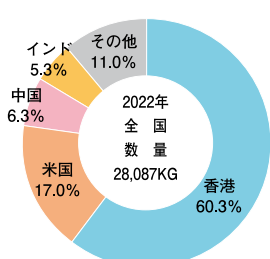
国・地域別構成比(神戸港・数量)



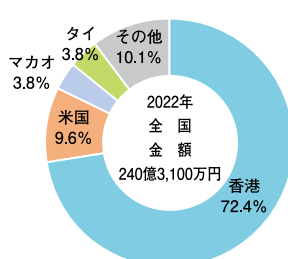
国・地域別構成比(神戸港・金額)



国・地域別構成比(全国・数量)



国・地域別構成比(全国・金額)



昨年秋以降、真珠に特化した国際的な商談会「ジャパンパールフェア」が神戸で開催されるなど、世界の真珠取引が再び活性化しており、2022年の神戸港は、数量3,554KG(対前年比143.3%)、金額3億8,100万円(同7.2倍)、全国は数量28,087KG(同141.1%)、金額240億3,100万円(同139.5%)と増加に向かっていきます。

今後も定期的に商談会開催が予定されているとのこと、かつてのように神戸が真珠の国際取引拠点となることを期待しています。



## マメ知識 その3

### 真珠の国際単位

養殖真珠の重さを計る単位は、匁(もんめ)が使われています。1匁は3.75グラム(5円玉の重さと同じ)です。

養殖真珠が輸出され始めたばかりのころは、欧米市場の天然真珠との競争が激しく、養殖真珠はニセ物と排斥運動を起こされたこともありましたが、英国・フランスの学者らによって「養殖真円真珠は天然ものと本質的に何ら変わるところがない」という見解が発表されるやいなや、世界中の市場にまたたく間に広がっていきました。これを契機として日本を中心とした真珠貿易が執り行われるようになったため、現在でも真珠の国際取引においては、日本古来の質量単位だった「もんめ=MOMME」がそのまま今でも真珠計量の国際共通単位として使われています。

## マメ知識 その2

### 神戸港と真珠

神戸港からは、真珠だけでなく製品の素となる真珠の原珠(「げんだま」貝から取り出したままの何も加工を施していない状態の珠)や真珠入りの貝が米国向けなどに輸出されています。



神戸港の貿易額について  
もっと詳しく知りたい方はコチラ!

HPアドレス

<https://www.customs.go.jp/kobe/>



是非お越し  
ください!!

# 今後の港関連イベント

## 7月17日（月・祝）に「第39回神戸港ボート天国」を開催予定

神戸港ボート天国は、港や海・船への親しみを深める機会を創出するために、毎年「海の日」に実施しています。メリケンパークを主会場として様々なイベントを展開する「Kobe Love Port みなとまつり」の一環行事として開催。通常非公開の官公庁船等の特殊な船を無料で間近に見学できる貴重な機会です。



## 「みなとHANABI-2023-神戸を彩る5日間」開催決定 10月16日（月）～10月20日（金）

@メリケンパーク

- 各日18:30～18:40の10分間
- 打ち上げ数:700発程度（最大3号玉）
- 音楽と花火をシンクロした「音楽花火」

※雨天決行・荒天中止



2023.3.30-3.31 神戸港初 外国客船3隻が同日に入港 © 木村知佳



海事や港湾の最新技術が神戸に集結！

# Techno-Ocean 2023

2023年 10月5日(木)～7日(土)

入場  
無料

会場:神戸国際展示場 (ポートライナー市民広場駅すぐ)



皆様のご来場をお待ちしています！

詳細は公式 Web サイトから  
<https://to2023.techno-ocean.com>

Techno-Ocean 2023



Techno-Ocean 2023 WEB ページ

主催 テクノオーシャン・ネットワーク

お問合せ Techno-Ocean 2023 実行委員会 事務局 (一般財団法人神戸観光局内)

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1

TEL / 078-303-0029 E-mail / [techno-ocean@kcva.or.jp](mailto:techno-ocean@kcva.or.jp)



## 編集後記

『港の風 神戸港からのたより』第53号をご覧いただきましてありがとうございます。

いよいよ夏本番！今年は様々なイベントが復活しそうで楽しみです。とは言え、この編集後記を執筆中の現在は梅雨真っ盛り。筆者はこの職場で初めての梅雨を迎えています。今まで海から離れた場所でしか生活したことが無かったため、日々新しい発見や驚きの連続ですが、最近驚いたことといえばもっぱら職場の匂いです。筆者は神戸海洋博物館内にある事務所で勤務しているのですが、雨が降って湿度の高い日は、窓辺やドア付近は建物の中まで海の匂い。神戸港の情報誌を制作するのにもってこいの立地で働いていることを日々実感しています。

次号以降もこの立地、新人ならではのフットワークの軽さを活かして、内容の充実した『港の風 神戸港からのたより』をお届けしてまいります！（井）

